

静岡県浜松市

【テーマ】 持続可能なインフラマネジメントの実現 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

公園の再整備及び包括的な管理における官民連携支援による効率化

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

市内の公園を対象に、公園機能の向上や利活用を含めた再整備の考え方（区分および方針）を定めるとともに、包括的な民間活力の導入による活用や、維持管理業務の効率化・省力化を図る。さらに、官民連携事業への支援等を含めた公園全体のマネジメントを実施することで、市民サービスのさらなる向上、官民連携事業の推進スピードの向上、合理的な維持管理の実現など、持続可能な公園における官民連携モデルの構築を目指す。

①解決したい課題

【再整備の課題】

- ・市内の593箇所の都市公園のうち、半数以上が開設から30年以上経過しており施設の老朽化や一部公園では利用者の減少が見受けられる。
- ・今後の再整備にあたっては、「量」から「質」「特性」への転換も視野に、各公園の周辺環境や、利用実態、利用ニーズを踏まえつつ、公園全体としての望ましいあり方および再整備の方向性を整理する必要がある。
- ・今後の整備や再整備において、民間活力を積極的に活用し、活かす、活かされる公園を目指していく。

【管理・運営体制の課題】

- ・広範な区域において公園の維持管理対応が求められている一方、予算や人員の確保が厳しい状況の中、業務内容の多様化もあり、職員の業務負担も増大している（業務の多様化 ⇒ 多様な利用ニーズへの対応による業務負担の増大）。
- ・指定管理者制度の運用は、収益性の観点より一部の公園に限られており、業務範囲も限定されていることから、指定管理公園の業務仕様の見直しや非導入公園を含めた合理的な維持管理方法について課題となっている。
- ・公園における官民連携事業の導入は限定的であり、新たな事業の創出や事業化に向けた取組への拡大が必要である。

種別	公園数
広域公園	3
都市基幹公園	15
住区基幹公園	456
その他	119



当市の人口・面積

人口	781,011人
面積	1,558.11km <sup>2</sup>

※令和7年4月1日現在

②課題解決の方向性等

質や特性を主とした再整備方針

- ・市内にある593箇所の都市公園について、規模別・地域別・公園施設別等の区分ごとに、今後の公園のあり方や遊具等を含む再整備の方向性を定める。
- ・地区公園以上の一定規模の公園については、公園ごとに整備の考え方やそれぞれの特色に応じた方向性を含めた再整備方針をまとめ、市全体の再整備方針の策定を行う。

維持管理業務の省力化・効率化

- ・施設点検、修繕、樹木管理、除草、日常清掃など公園の維持管理に係る事務処理を効率化・省力化できる手法について検討（※民活導入推進なのか、直営維持なのか、よりベターな手法の検討）
- ・競争性を確保したまま、地元業者（担い手）へ安定して業務提供が可能な担い手支援を踏まえた委託方式を検討

新たな官民連携モデルの創出

- ・民間事業者から支援を得ることにより実現性の高い官民連携事業を推進
- ・早期の事業着手を目指し、官民連携事業における事務手続の簡素化、省力化の検討
- ・地元企業の参入機会の創出
- ・既存の事業方式や手法にとらわれない新たな官民連携事業モデルの構築

③課題解決のイメージ・効果

- ▶公園全体を規模や機能で区分し、再整備方針を定めることにより**方向性を統一化**
- ▶民間企業のノウハウを通じて**業務効率化、コスト削減**および**職員の負担軽減**
- ▶官民連携事業の推進体制の強化、**事業推進速度の向上、早期の事業着手**
- ▶**地域経済の活性化、地域の魅力向上**

その他

- ・本市は全国第2位の市域を有し、海・山・川・湖・都市部・中山間地域が共存するなど、多様な日本の環境を凝縮した「国土縮図型都市」であることから、本市での公園モデルは、この特性を活かした他都市のモデルとなり得る。

地方公共団体名：浜松市  
担当部署：都市整備部 公園課、公園管理事務所

担当者：中島、良知  
連絡先（電話番号）：053（457）2350

メールアドレス：kouen@city.hamamatsu.shizuoka.jp